

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和01年12月24日

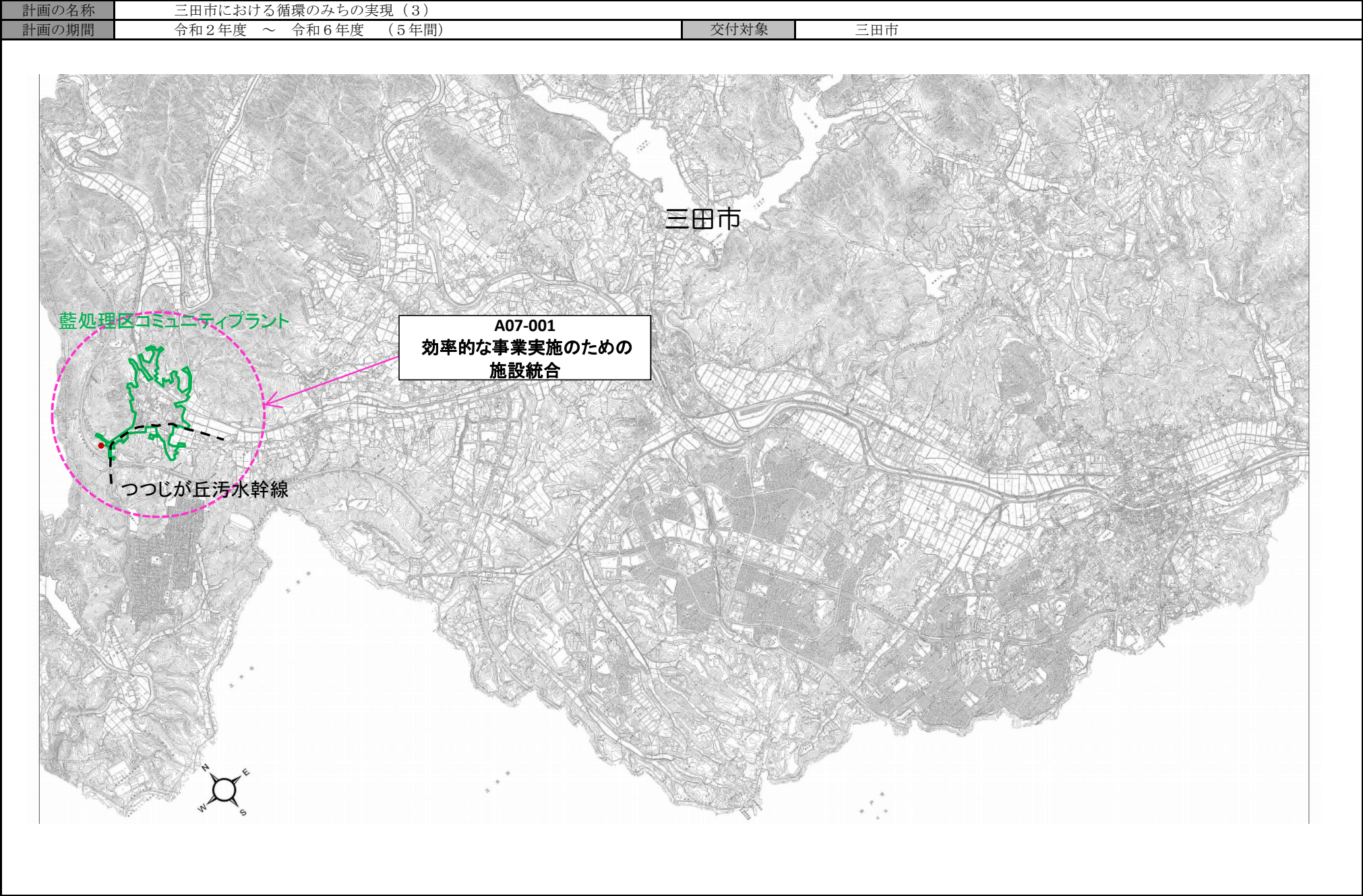
計画の名称	三田市における循環のみの実現（3）														
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	三田市														
計画の目標	下水道整備を行い、安心・安全、快適な暮らしを実現し、良好な水環境を創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		24	A	24	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	①効率的な事業を実施するため、施設統合工事を実施する。（施設統合工事を1箇所実施する。）			
	①効率的な事業を実施するための施設統合 施設統合事業実施数（1箇所）	0箇所	1箇所	1箇所

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	三田市	直接	三田市	ポンプ 場	新設	効率的な事業実施のため の施設統合	工事（1 施設）	三田市	■	■				24		－	
												小計						24		
											合計						24			

(参考様式 3) (参考図面) 社会資本整備総合交付金事業



事前評価チェックシート

計画の名称： 三田市における循環のみちの実現（3）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
2) 下水道の諸計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
3) 関連する諸計画（河川整備計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性	
1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 目標及び事業内容と計画区域等の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果	

[illegible]

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和01年12月24日

計画の名称	次世代に引き継ぐ三田の下水道に向けて（3）（防災・安全）														
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	三田市														
計画の目標	下水道施設の計画的な整備・再構築により、市民の暮らしを守る。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		750	A	746	B	0	C	4	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0.53	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	①持続可能な下水道事業の実現を図るため、ストックマネジメント計画に基づき計画的で効率的な長寿命化対策を行う。			
	①ストックマネジメント計画に基づく管渠における点検調査実施率 点検調査実施管渠延長／点検調査が必要な管渠延長（L＝56.1km）	0%	50%	100%
2	②総合地震対策計画に基づく重要な管渠の耐震化対策率を0％（R2）から100％（R6）に増加させる。			
	②総合地震対策計画に基づく重要な管渠の耐震化対策実施率 耐震化実施管渠延長／耐震化が必要な管渠延長（L＝1.1km）	0%	46%	100%
3	③都市部における雨水貯留タンク設置戸数を年40戸増加させる。			
	③都市部における雨水貯留タンク設置戸数率 雨水貯留タンク設置戸数／雨水貯留タンク設置目標戸数（N＝279戸）	28%	64%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－

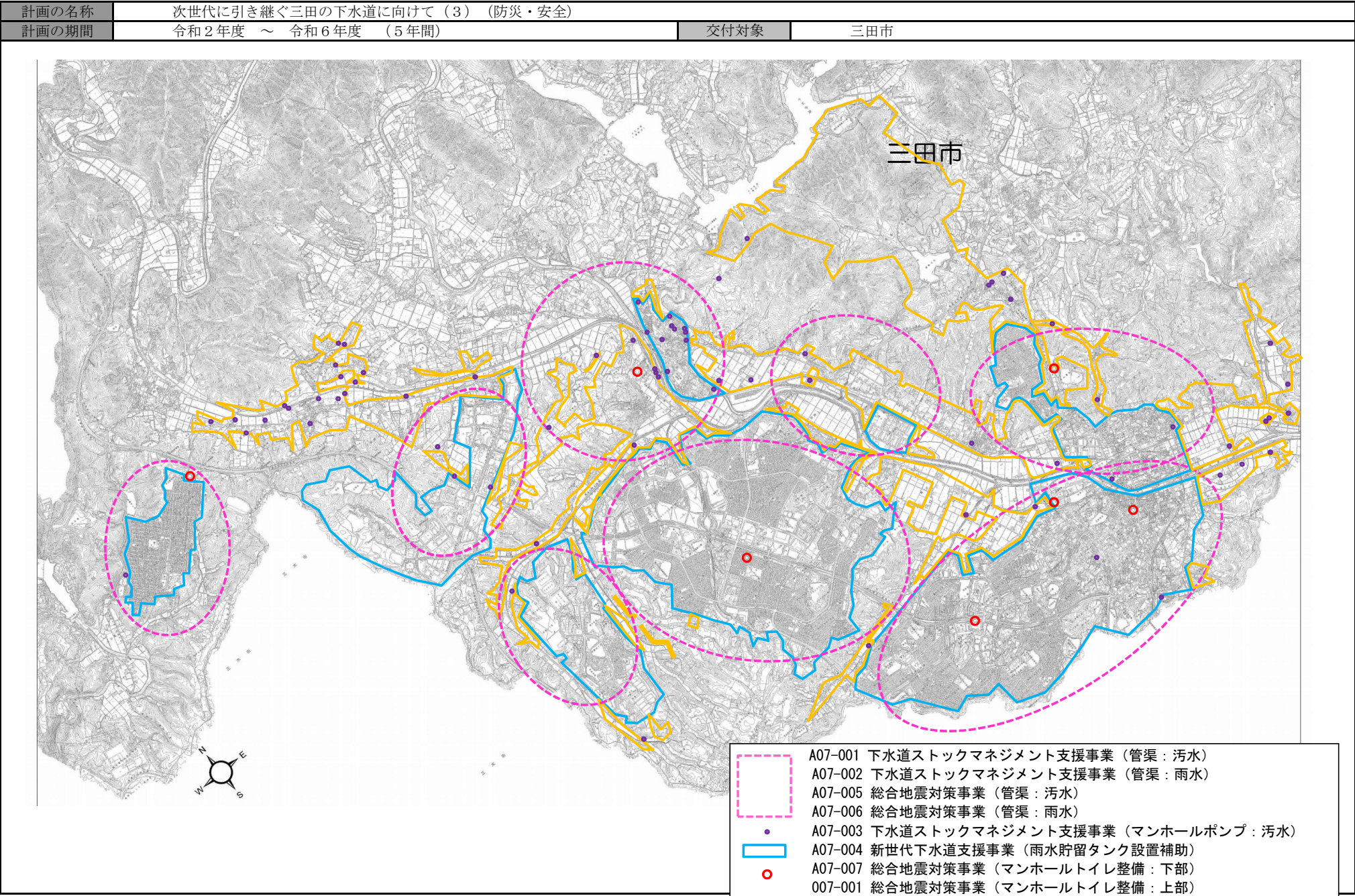
A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		R02	R03	R04	R05	R06													
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠（ 污水）	改築	下水道ストックマネジメ ント支援事業	老朽化対策事業（管渠）	三田市	■	■	■	■	■	172		策定済
	A07-002	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠（ 雨水）	改築	下水道ストックマネジメ ント支援事業	老朽化対策事業（管渠）	三田市	■	■	■	■	■	119		策定済
	A07-003	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠（ 污水）	改築	下水道ストックマネジメ ント支援事業	老朽化対策工事（マンホール ポンプ）	三田市	■	■	■	■	■	106		策定済
	A07-004	下水道	一般	三田市	間接	個人	－	新設	新世代下水道支援事業	雨水貯留タンク設置補助	三田市	■	■	■	■	■	6		－
A07-005	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠（ 污水）	改築	総合地震対策事業	耐震化事業（管渠）	三田市		■	■	■	■	133		策定済	
A07-006	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠（ 雨水）	改築	総合地震対策事業	耐震化事業(管渠)	三田市		■	■	■	■	126		策定済	
A07-007	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠（ 污水）	新設	総合地震対策事業	マンホールトイレ整備工事	三田市	■	■	■	■		84		策定済	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											小計						746		
											合計						746		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠（ 汚水）	新設	総合地震対策事業	マンホールトイレ整備工事（ 上部）	三田市	■	■	■	■		4		策定済
		一体的に整備することにより災害発生時のトイレ環境を良好に保つ事ができる。																	
											小計						4		
											合計						4		

(参考様式 3) (参考図面) 防災・安全交付金事業



事前評価チェックシート

計画の名称： 次世代に引き継ぐ三田の下水道に向けて（３）（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
2) 下水道の諸計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
3) 関連する諸計画（河川整備計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性	
1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標の定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果	

[illegible]